

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18110
政策名(章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 世界とともに生きる地域社会の実現	評価担当課	渉外課
施策名	国際平和への貢献	課長名	小林 茂

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

相模原市核兵器廃絶平和都市宣言(昭和59年12月)に基づき、昭和60年から「市民平和のつどい」を毎年開催し、平成16年からは、パートナーシップの考え方に基づき、市民主体の「市民平和のつどい」実行委員会とともに事業の企画立案を行い、平和思想の普及啓発に努めている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		2,652,813	「市民平和のつどい」について、市民主体の実行委員会で企画立案を行い、事業委託内容の精査に努めた結果、事業費の減少につながった。
人件費		8,050	
市民一人あたりの事業費	8,244	3,989	
合計	5,078,545	2,660,863	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

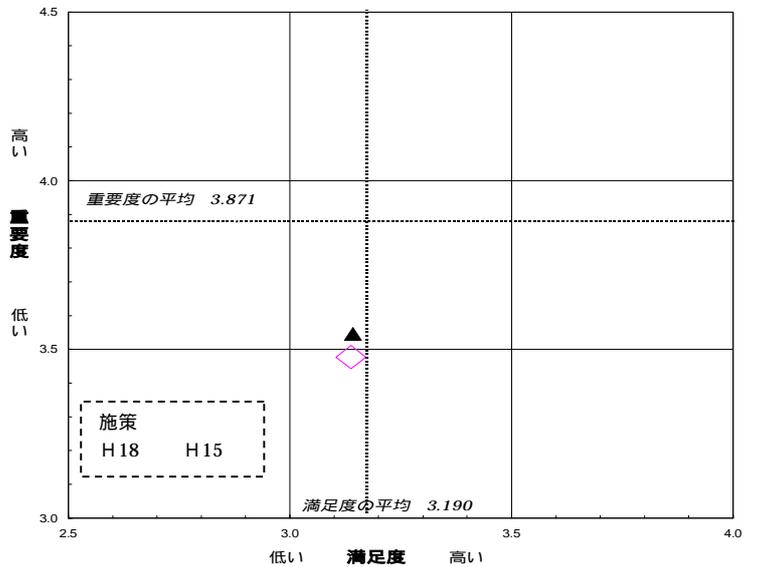
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	市民平和のつどい参加者率 本年度参加者 ÷ 目標参加者 * 100	目標参加者数(1,500人)に対する比率	63(%)	15
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	80 / 73	19	90	21	100	基準年の基準値から最終年度の目標値達成に向けて、数値を適宜調整させていく。
達成率	91%					
指標2						
達成率	#DIV/0!%					
指標3						
達成率	#DIV/0!%					
指標4						
達成率	#DIV/0!%					
指標5						
達成率	#DIV/0!%					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.138で51施策の中で31番目。
 重要度は3.477で47番目である。
 改善要望度は - 0.2416で44番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、40歳代で前回調査より大幅に下がっている。
 重要度の順位では、前回調査と大きな差はみられない。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	指標1の数値が基準年度の「63」から、「72.6」と約1割の増となった。達成度は約90パーセントで、目標には到達できなかったものの、ほぼ目標に近い数値が達成できた。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	基準年度と比較して、事業コストはおよそ5割削減したが、指標から判断しても、事業成果は向上している。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2	重要度は51施策中47番と大幅に低い。また、満足度は平均値を若干下回り、31番である。	
合計		7	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	「市民平和のつどい」の参加者をいかに増やしていくかが課題となる。
解決策	市内各公共施設や学校で行われるイベント等とタイアップし、事業を行い、一層の普及啓発に努め、参加者の増員に努力している。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

市民主体で事業実施を行っているにも関わらず、市民満足度、重要度とも低くなっている。更に効果的な市民への啓発に努める必要がある。	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
慰霊塔維持管理費	地域福祉課	2	0.25		2	0.25	2,013	4,875	6,888
平和思想普及啓発事業	渉外課	1	1.20	5,075,174	1	0.50	4,025	2,646,760	2,650,785
戦争犠牲者援護費	地域福祉課	再掲	0.25	3,371	再掲	0.25	2,013	1,178	3,191
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		1.70	5,078,545		1.00	8,050	2,652,813	2,660,863
	合計		1.70	5,078,545		1.00	8,050	2,652,813	2,660,863

